

# 令和4年度 各委員会の年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行い、市に対して提言をしています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

## 議会運営委員会

「ICT化に伴う情報の管理について」

議員が議員活動や議会活動において取得した個人情報等の取扱いについては、現在個人の判断に任ざれている状況です。また、議員活動において取得した行政情報の取扱いについては、速やかに市民にも知らせるべき情報と行政内部にとどめるべき情報を、どのように区別していくのかがルールを作る必要があります。更に、この先のICT化の推進に伴う個人情報等の情報セキュリティについては、一人一台のタブレット端末を配備することでも、どこでも情報を入力することができ、情報発信も出来るようになり、議会のICT化を進める中で、どのように議員の情報モラルを確立していくか調査研究していきます。

## 総務委員会

「自治体DXの推進について」

自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して仕事の進め方を効率化・高度化することにより、市民生活の質と利便性の向上を図るものです。

複雑・多様化する住民ニーズに対応した行政サービスを提供し続けるには、行政のデジタル化は急務であり、半田市では、「半田市DX推進計画」が令和4年3月に策定されたところです。

今後、DXを推進し、「いつでも・どこでも・誰でも便利なデジタルシティ」を目指し実現することによって、市民サービスの向上と行政事務等の効率化が図られます。市民の皆さんがスマートフォンなどにより、24時間365日どこにいても手軽に利用できる「行政手続きのオンライン化」を中心に調査研究していきます。

## 文教厚生委員会

「今後の部活動のあり方について」

国は令和2年度に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」についてガイドラインを示しました。これまでの部活動は、教員の休日の指導や時間外労働の献身的な勤務の下で成り立ってきましたが、長時間勤務の要因となっています。

国の方針は来年度以降、部活動を段階的に地域へ移行していくこととし、具体的なスケジュールを示し教員の働き方の改善を図るとしています。

半田市内には現在5つの総合型地域スポーツクラブがあり、子どもたちの地域の受け皿として期待されています。しかし、中学校の部活動が地域へ移管された場合、運営を担う人材や指導者の確保、部活動中事故の責任はどうするか、また、土日等に行われる地区大会等の出場他課題は山積です。

教員の働き方の改善が求められる時を向かえ、吹奏楽などの文化部活動も含め、持続可能な部活動のあり方を調査研究していきます。

## 建設産業委員会

「墓地のあり方について」

近年、核家族化や、少子化、単身世帯率が増加する中、ライフスタイルの変化なども起因して、お墓のあり方や、お墓の跡継ぎがない等維持管理の課題があります。併せて、樹木葬や合葬墓といった新しい形態のお墓の需要が増えていくこともあり、半田市でもそれらのニーズに答え、対応していく事が喫緊の課題です。

また、今後無縁墓地を増やさない取組みをどうしていくべきなのか等の課題もあります。そのためにも、権利者の確定や、墓地運営を半田市は今後どのように行っていくのかを具体的にしていく必要があります。

そこで、建設産業委員会では、先進的な取組みを行う自治体の状況を踏まえ、半田市に合う、墓地のあり方を調査研究していきます。